

平成29年度町政懇話会 議事概要

日 時：平成29年10月6日（金）
19時00分～20時30分
場 所：上大井小学校

出席者：間宮町長、井上副町長、夏苺教育長、米山生活環境課長、石田地域振興課長、水上地域振興課副課長、植松生活環境課副主幹

事務局：湯川町民課長、清水副課長、皆木副主幹、小笹主任主事

参加者数：30人

1 開会

町民課長より開会のあいさつ

2 町長あいさつ

間宮町長よりあいさつ

3 出席者紹介

出席者よりあいさつ

4 テーマ別説明

(1) (仮称) 大井中央公園整備について 生活環境課長より説明

(2) 相和地域活性化について 地域振興課長より説明

【質疑・応答】

○ (仮称) 中央公園について、子どものボール遊びができない公園が増えているが、グラウンドゾーンの広さは？多目的広場ゾーンではボール遊びなどできるのか？

→ グラウンドゾーンはバスケットボールの3on3ができる広さです。ゲートボール場が1面とれる広さで周りをフェンスで囲うことになる。芝生広場は、都市公園として規制はあるが、サッカーなどができるような広場ではない。危険のない範囲であれば、小さい子どもがボール遊びぐらいはできるかなと思っている。サッカーなどする場合は学校のグラウンドを利用してほしい。

○ (仮称) 中央公園について、憩いゾーンに複数の人々がゆったりくつろげる休憩施設の設置とあるが、具体的にはどういうことか？休憩施設とは、お茶を飲んだり、話ができる居場所がある建物ができるのか？子ども達の遊具には、アスレチック的な遊具に人気があると思うが、どのようなものを設置するのか？

→ 憩いゾーンは、東屋を設置しベンチも配置する。交流ができるゾーンとして計画している。子どもの遊具は、通路で分けて右側は幼児向け、左側は児童向けとして計画している。ワーキングの中で子どもの年齢によって遊び方が違うという意見があった。遊具もそれぞれに合った複合遊具を設置していきたい。さらに御殿場線沿いの所で泥遊びなどができるスペースにしたい。建物について

は、トイレ・防災倉庫は設置するが、お茶を飲めるような建物の設置は予定していないが、意見として伺う。まずは公園の整備を最優先にしていきたい。

- 相和地域活性化について、交流体験事業を成功させるにはメニュー内容も大事だが、いかに広く情報発信ができるかが重要ではないか？今のままでは相和地域の魅力を発信できないのではないかと？発信力を強化することにより、もっと多くの方に知ってもらえると思う。
 - まずは情報誌を発行したが、町のホームページやフェイスブック・インスタグラムを活用し発信していきたい。都心で行う地方の市町村をPRする場所に参加して発信していきたい。

- 昨年も質問したが、西大井の公園の使い道は決定したのか？まだ決定していないとの回答だが、1年間進展していないのか？
 - 管理は生活環境課が行っているが、今後の利用方法は決定していない。利用方法の決定は、別の課が担当しており、検討はしているが詳細は不明である。決定したら周知していく。

- 自主防災普及啓発・資機材整備事業補助金について、自治会長会議で補助金額の算出根拠の質問をしたが、世帯数で算出しているとの回答で検討すると言っていたが、今年も算出根拠が世帯数になっている。どのような検討をしたのか？
 - 担当課が来ていないので回答できないが、防災訓練の参加者も加味して検討すると伝えたかと思う。意見があったことは、担当課に伝える。

- 相和地域活性化について、夢があっていい。相和地域の魅力ある事業としてほしい。
 - 知恵を出し合いながら実施していきたい。

5 閉会

井上副町長より閉会のあいさつ